

## 事業名 <sup>すいづ</sup>水津海岸ふるさとづくり海岸事業

風光明媚な景観に配慮し、レクリエーション機能を有した海岸環境整備を行い、この海岸を利用した海や漁業の体験型修学旅行の誘致が行われるなど、活性化の取り組みの拠点として地域で期待され、評価の高い事業

受賞機関 新潟県相川土木事務所  
事業実施期間 平成8年9月26日～平成13年2月19日  
事業費 1,183百万円

### 事業等の特徴

事業に対する地域の期待が極めて高く、このことがワークショップへの参加、植樹、清掃活動等への住民の積極的な参加に結びついている。

### 事業の概要と利用者等の評価

佐渡島の東部に位置する水津海岸は、夏には海水浴等の野外レクリエーションに多数の観光客が訪れており、既存の海岸及び駐車場等が小規模で、施設が十分なものでないことから、突堤、護岸、駐車場、広場、緑地、砂浜の整備を行った。

護岸は、周辺の景観に配慮し、自然石（1.0t/個）を利用した緩傾斜護岸とし、石材には色合いの明るい花崗岩を用いて浜全体を明るく仕上げ、古くからいわれのある奇岩「弁慶岩」を周囲から鑑賞できるよう護岸の構造も工夫した。護岸背後には、駐車場、キャンプのできる緑地、プロテクターを設置した駐車可能な芝生広場等を整備し、利用者の利便性向上を図った。植栽は、既存の高木を最大限活かすとともに、新たに高木も植栽し、日陰の創出に努め、利用者に優しい海岸となるよう心がけた。

利用者等の評価については以下のとおりである。

水津海岸は、地域活性化の拠点として期待されていることから、平成12年度に「にぎわい、ふれあう、伝説の浜辺をめざして」をテーマに、ワークショップ「ぼくらのなぎさ学校」が、海岸に隣接する水津・片野尾両集落合同で開催された。

ワークショップは5回開催され、ここで提案されたいくつかの取り組みは実施に移されている。

平成13年3月に植樹祭、平成13年7月に海岸清掃



全景



ワークショップ風景

が、100人を越える参加により実施された。新しく整備された海岸は、地域の話合いにより「赤亀・風島なぎさ公園」と命名され、銘板づくりが進められている。さらに、浜を利用した海や漁業の体験型修学旅行についても、両津市と地元で具体的なメニューや受け入れ態勢を検討し、誘致活動を行っている。

このように、水津海岸は地域の宝物として愛され、今後の活性化の取り組みの拠点としても期待され、この事業は地域から高い評価を受けている。

### 審査委員会委員の意見等

- ・自然景観の観賞、利用者に優しい海岸、利便性の向上など複数の視点を盛りこんでいる点が良い。
- ・ワークショップ方式による計画案の形成や地元からのインプットがその後の利活用や維持管理につながっていて、地域のわれわれ意識が明瞭に感じ取れるよい事例である。WSやなぎさ学校での議論にストーリー性があったことが想像できる。「伝説の浜辺」というキーコンセプトがよかった。
- ・地域におけるイベント空間の一つとして利用が定着しつつある。
- ・住民参加のプログラムを多様に広げ、継続的なものとしてもらいたい。